

化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページについて

1. 背景・目的

化学物質に関する情報は、科学的に高度な内容を含むため、専門知識を有していない一般市民にとっては理解するのが困難な状況にある。また、化学物質の内分泌かく乱作用に関しては科学的に不明確な部分も多く、不十分な情報提供が時に混乱を招く可能性もあることから、内分泌かく乱作用も含めた化学物質に関する情報提供やリスクコミュニケーションのあり方・手法等について十分に検討した上で、情報提供を行う必要性が生じている。

EXTEND2010の取組においては、引き続き適切な情報提供のあり方を検討しつつ、主に一般市民を対象に、ホームページによる化学物質の内分泌かく乱作用に関する正確で分かりやすい情報提供を進めているものである。

2. ホームページの構成

画面構成は以下のとおり。

The screenshot shows the homepage of the 'Official Endocrine Disruption Website'. The page is in Japanese and features a navigation bar at the top with links like '内分泌かく乱作用とは' (What is Endocrine Disruption?), '取組紹介' (Introduction to the Initiative), '公開セミナー' (Public Seminars), '資料集・リンク' (Resource Collection/Links), and '新聞・コラム' (News/Columns). The main content area includes sections for 'Topics', '関連ニュース' (Related News), and '公開セミナー(新規)' (New Public Seminars). Annotations with arrows point to specific parts of the page:

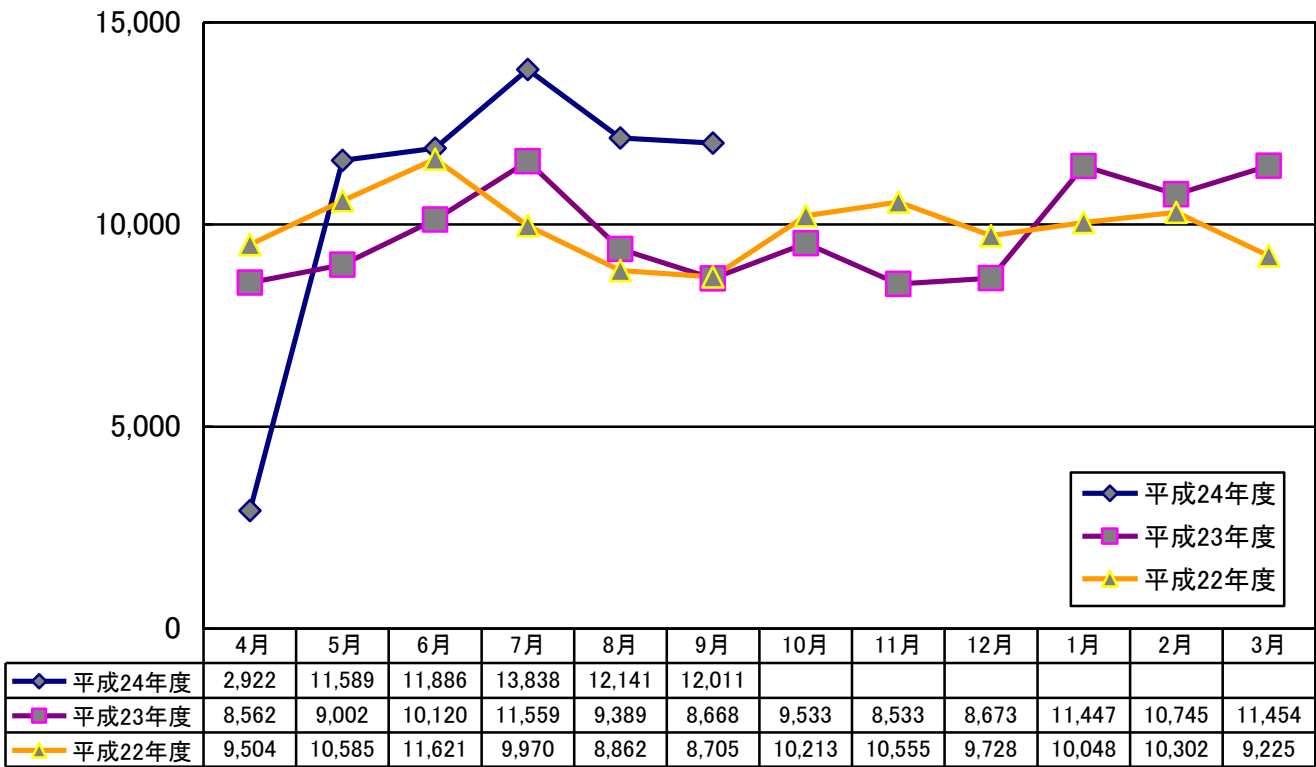
- 内分泌かく乱作用とは** (What is Endocrine Disruption?): Points to the top-left section, with sub-annotations for '→入門編' (Introductory) and '→詳細編' (Detailed).
- 対談・コラム** (Interview/Column): Points to the top-right section.
- 公開セミナー(新規)** (New Public Seminars): Points to the middle-right section.
- 取組紹介** (Introduction to the Initiative): Points to the middle-left section, with sub-annotations for '→環境省の取り組み' (Environment Ministry's Initiative) and '(EXTEND2010) 他' (Others).
- 関連ニュース (月2回更新)** (Related News (Updated twice a month)): Points to the bottom section.

3. ホームページの運用・更新報告（平成21年4月～平成24年9月）

（1）ホームページのアクセス集計

アクセスログ情報を毎日収集し、アクセス数の解析を行った。平成24年4月にサイトURLを endocrine.eic.or.jp から endocrine.jp に変更した。一時的にアクセス数の減少があったが5月以降は前年度と同じ水準に回復している。

<グラフ：アクセス集計>



年度毎集計	参照数
平成24年度 4月～9月（6ヶ月）（サーバー更新有）	64,387
平成23年度	117,694
平成22年度	119,318
平成21年度	133,836
平成20年度	165,129
平成19年度	170,701
平成18年度（ホームページのリニューアル有）	232,133
平成17年度 7月～3月（9ヶ月）	158,816

(2) ホームページのコンテンツ運用について

ホームページコンテンツの追加更新を以下のとおり行った（平成23年7月以降）。

① 関連ニュース

コンテンツ項目			対応内容
TOP			
	関連ニュース		国内・海外ニュースから健康・化学物質に関連するニュースをピックアップし、月2回更新を行った
	平成23年 7月～12月	71件	国内：計47件 海外：計24件
	平成24年 1月～10月	87件	国内：計74件 海外：計13件
	合計	158件	国内：合計121件 海外：合計37件

②コラムの更新

平成24年1月17日「米国の新たなEDSPイニシャティブ」

（米国環境保護庁（EPA）化学物質安全性・汚染防止局

上席生物学者 レスリー W. トゥアート Ph.D.）

The screenshot shows a web browser window displaying the 'Official Endocrine Disruption Website'. The page title is 'コラム・エッセイ「化学物質の脅威」に対する一考[Official ED Website] - Mozilla Firefox'. The URL is 'endocrine.jp/5column/c-23.html'. The website has a blue header with the title 'Official Endocrine Disruption Website' and a subtitle '化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供サイト'. A navigation bar includes links for '内分泌かく乱作用とは', '取組紹介', '公開セミナー', '資料集・リンク', and '対談・コラム'. The main content area features the article '米国の新たなEDSP21イニシャティブ' by '米国環境保護庁 (EPA) 化学物質安全性・汚染防止局 上席生物学者 レスリー W. トゥアート (Ph.D)'. The article text discusses the EPA's efforts under the Food Quality Protection Act (FQPA) and the Federal Food, Drug, and Cosmetic Act (FFDCA) to screen for endocrine-disrupting chemicals. A portrait of Leslie W. Turturro is shown next to the text. A sidebar on the right contains a '対談・コラム' section with a list of articles, including the current one, and a '対談・インタビュー' section with links to '環境ホルモン騒動' interviews.

③その他の更新状況

下記のページについて更新を行った。

- ・「用語集」資料集・リンクページ

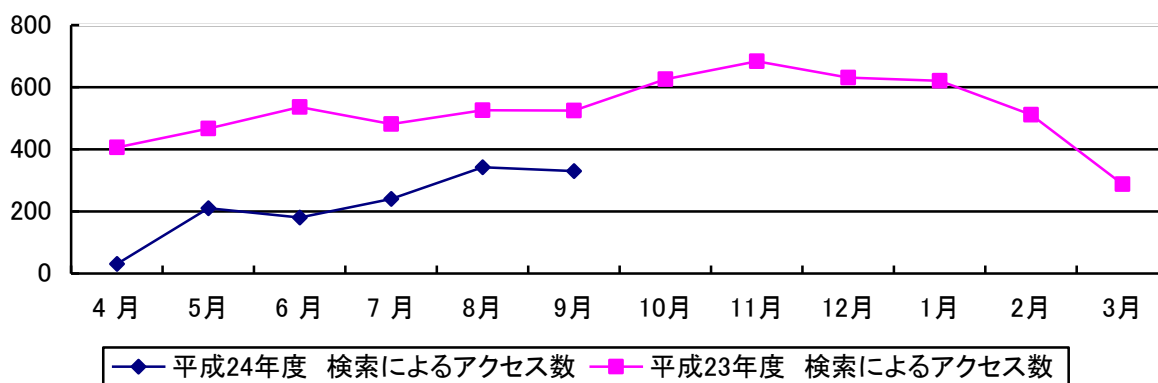


4. アクセス情報解析、ワード検索等の実施

(1) アクセス解析の実施

①サイトURL変更の影響

サイトURLの変更により検索サイト（Google等）では新しい実績の無いサイトとして扱われるため検索時の表示順位が下がった。この影響により検索により始めてサイトを訪れるユーザーが減少した。完全な回復には時間が掛かると思われる。



②、検索サイトからどのようなキーワードで訪問したかを検証することとし、検索語の抽

出、検索数の集計を行った。

(対象) : 平成22 年10 月より平成24 年9 月までの期間

(方法) : 検索サイト経由でのアクセスの際にアクセス情報として記録される検索語を抽出・集計した。 また、アクセス元のドメイン種別を集計した。

ac.jp 大学等、or.jp 財団法人・社団法人等、go.jp 政府機関、co.jp 株式会社等、ne.jp 固定IPアドレスを待たない一般家庭等。

(結果) : 同サイトへ訪問した際に用いられた検索語（上位20）については、以下のとおり

	平成22年10月～平成24年9月	ac.jp	or.jp	go.jp	co.jp	ne.jp	件数合計
1	内分泌かく乱物質	5.1%	7.7%	0.2%	2.9%	51.3%	1059
2	図	6.5%	11.5%	0.3%	1.1%	54.2%	626
3	環境ホルモン	10.6%	6.3%	2.1%	3.9%	44.1%	585
4	内分泌	8.0%	6.3%	1.2%	1.0%	55.4%	585
5	ホルモン	6.4%	9.3%	0.9%	0.9%	47.2%	559
6	内分泌系	6.1%	10.7%	0.2%	0.6%	57.9%	478
7	eic	0.0%	0.4%	0.0%	0.2%	91.2%	455
8	内分泌系 図	8.4%	7.7%	0.2%	1.2%	54.8%	416
9	魚類	20.5%	1.8%	0.8%	2.6%	46.8%	385
10	環境省	6.1%	5.5%	3.7%	10.1%	43.4%	327
11	内分泌かく乱作用	6.6%	7.3%	1.4%	5.2%	50.2%	287
12	チビコト	1.5%	5.9%	2.2%	7.0%	60.8%	273
13	化学物質	12.5%	7.0%	1.5%	12.9%	38.6%	272
14	作用	8.1%	9.6%	0.0%	1.5%	59.6%	260
15	内分泌器官	1.6%	4.5%	0.0%	4.5%	65.2%	247
16	両生類	17.0%	5.4%	0.8%	1.2%	42.6%	241
17	エストロゲン	6.1%	10.3%	0.0%	0.9%	55.1%	214
18	視床下部	14.1%	6.0%	0.0%	2.2%	44.6%	184
19	甲状腺	8.0%	8.0%	1.7%	3.4%	44.3%	176
20	下垂体	18.3%	7.7	0.0	1.8%	39.6%	169

- ・ 前回検討会での報告、キーワード“環境ホルモン”による検索訪問数を増やすという目標は達成出来ている。
- ・ 検索からの訪問者は訪問前から知識を持つと考えられる ac.jp ドメインからのアクセスの割合が多いことが判る。
- ・ 一般家庭からの訪問者が多い ne.jp ドメインから検索される割合が高いキーワードは ac.jp ドメインから検索される割合が低い。
- ・ 他のサイトでは見られないこのサイトの特徴として、キーワード“図”による検索が多いことが判る。 キーワード“図”と同時に検索され、検索語（上位20）の表には無いキーワードとして、“泌尿器系+図”、“副腎+図”、“魚+脳+図”、“内分泌+妊娠+図”、“gnrh+生殖腺+図”、“二次性徴+図”、“松果体+下垂体+図”、“視床下部+場所+図”、“ドーパミン代謝経

路+図”, “性腺+図”等がある。

キーワード“図”による検索はne.jpドメインの割合が高い。

ドメイン種別	件数	割合
ne.jp	157件	57.3%
ac.jp	16件	5.8%
co.jp	4件	1.5%

“詳細編：内分泌とは何か ～人（哺乳類）における内分泌系～”

/1guide/detail_a1-1.htmlページに掲載されている画像を目的としている場合が多い。

ページ	件数	割合
/1guide/detail_a1-1.html	111	40.5%
/1guide/detail_a1-3.html	74	27.0%
/1guide/detail_a1-2.html	9	3.3%
/1guide/detail_a2-1.html	1	0.4%
/5column/c-17.html	1	0.4%

- <http://www.google.com/imghp> グーグル画像検索からの訪問者はac.jpドメインの割合が高い。

ドメイン種別	件数	割合
ne.jp	237件	42.5%
ac.jp	91件	16.3%
co.jp	16件	2.9%

“詳細編：内分泌とは何か ～両生類の内分泌系～”

/1guide/detail_a1-3.html ページに掲載されている画像を目的としている場合が多い。

ページ	件数	割合
/1guide/detail_a1-3.html	411	73.8%
/2act/sympo_09.html	24	4.3%
/2act/sympo_11.html	20	3.6%
/1guide/first_q2.html	15	2.7%
/1guide/first_q3.html	15	2.7%

- <http://www.env.go.jp/chemi/end/index.html> “環境省_化学物質の内分泌かく乱作用” ページにあるリンクからの訪問が最も多く4440件である。
- http://www.env.go.jp/chemi/risk_assessment.html “環境省_科学的知見の充実及び環境リスク評価の推進” ページにあるリンクからの訪問が440件である。
- <http://www.env.go.jp/chemi/communication/index.html> “化学物質などの環境リスクについて学び、調べ、参加する” ページにあるリンクからの訪問が231件である。
- <http://www.env.go.jp/chemi/end/extend2010.html> “環境省_化学物質の内分泌かく乱作用 | EXTEND2010における取組み” ページにあるリンクからの訪問が67件である。

5. 今後の予定について

ホームページによる情報提供の特性を活かしながら、今年度も引き続き各既存コンテンツの追加更新を予定している。

また、化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会における検討のほか、上記のアクセス解析やワード検索の内容等も精査した上で、ホームページの修正・追加更新等を行う予定である。その際、特に以下の内容について留意することとする。

(参考) 化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供ホームページアクセス内訳 (上位 35)

平成 23 年 7 月～平成 24 年 9 月

順位	ページタイトル	参照数
1	化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供サイト	64787
2	内分泌かく乱作用とは	4819
3	内分泌かく乱作用とは：入門編Q4「”内分泌かく乱作用”をもつ物質とは、たとえばどのようなもの？」	2715
4	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌とは何か ～両生類の内分泌系～」	2529
5	内分泌かく乱作用とは：入門編Q1「環境ホルモン」と「内分泌かく乱物質」と「内分泌かく乱作用」?	2491
6	内分泌かく乱作用とは：入門編Q2「”内分泌かく乱作用”とは、いったいどんな作用なのでしょう？」	2100
7	内分泌かく乱作用とは：入門編Q5「”内分泌かく乱作用”への取組は、どんなことがおこなわれているのでしょうか？」	2077
8	内分泌かく乱作用とは：入門編Q3「”内分泌かく乱作用”はいったい、どんな影響をもたらすのでしょうか？」	2072
9	取組紹介	1994
10	資料集・リンク	1920
11	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌とは何か ～人（哺乳類）における内分泌系～」	1894
12	資料集・リンク：専門家向けデータベース「メダカアトラス」	1848
13	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌とは何か ～魚類の内分泌系～」	1786
14	化学物質の内分泌かく乱作用に関する公開セミナー	1226
15	コラム・エッセイ 「内分泌かく乱化学物質と私たちの暮らし」	1182
16	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌とは何か ～無脊椎動物の内分泌系～」	1122
17	対談・コラム	1107
18	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌かく乱とは何か ～受容体結合～」	1086
19	資料集・リンク：参考文献「チビコト」	972
20	Official ED Websiteについて：著作権・リンク	912
21	内分泌かく乱作用とは：はじめにQ4「化学物質が内分泌をかく乱する仕組みを教えてください」	903
22	内分泌かく乱作用とは：はじめにQ1「内分泌とはどういうものですか。そもそも、ホルモンとは何ですか？」	902
23	内分泌かく乱作用とは：はじめにQ3「では、化学物質で内分泌がかく乱されるとはどういうことでしょうか？」	867
24	Official ED Websiteについて	853
25	コラム・エッセイ 「化学物質の脅威」に対する一考」	835
26	関連ニュース一覧	799
27	コラム・エッセイ 「EXTEND2010のスタートに際して」	775
28	身近な野生生物の観察活動の発表報告	764
29	内分泌かく乱作用とは：はじめにQ2「内分泌がかく乱されるとはどういうことでしょうか？」	746

30	対談・インタビュー「“環境ホルモン騒動”を検証する Part 1」	735
31	Official ED Websiteについて：プライバシーポリシー	713
32	資料集・リンク：専門家向けデータベース「メダカアトラス」	695
33	資料集・リンク：リンク集	693
34	取組紹介：国際的な取組 米国環境保護庁 (USEPA) の取り組み	659
35	トピックス一覧	642